

悲願の国体 わずか半年で

大部屋出身の俳優 土平ドンペイさん(52) 草津市

はい上がる人

わたしの歩跡

カヌーで国体に絶対出る。体 力作りと願掛けもあって、私立 比叡山高校(大津市坂本4)3 年生の1年間は毎朝、京阪皇子 山(現・大津京)駅で降りて、 高校まで6キロ弱走ったんです。 「シャワーで登校するのを許 可してください」って生徒指導 室にお願いして。リュックを背 負って走って、友達が電車から 「ドンペイ、走っとる」って言 われて。

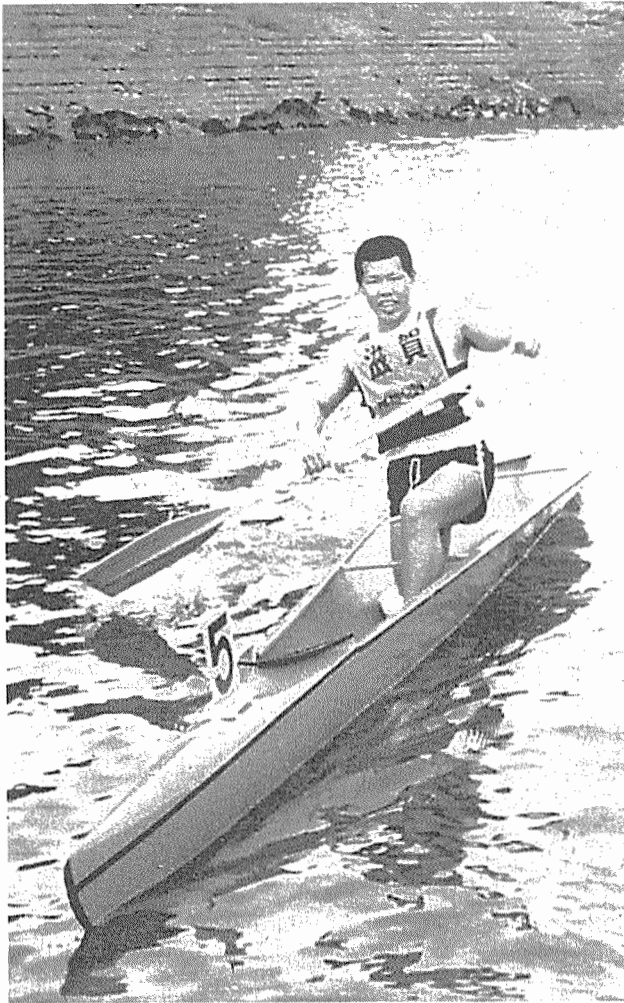
漕げるようになってからは、 さすが東京五輪に出た選手(故 吉尾詔二さん)の組む練習だけ であって、きつくてきつくて。水 上練習が終わったら、陸上で走 り込みや筋トレをして。最初は 野球部時代に痛めた背中が相当 痛かったんです。いろんなスポ ーツやってきたんですけど、こ んなしんどのいのはない言うくら い。身体も今よりは3倍くらい 大きく、筋肉モリモリでした。

▲競技を始めて半年弱の19 84年7月、初めての公式戦の 県民体育大会を迎えた。国体出 場切符は「1」。優勝あるのみ。 500席のカナディアンシングダ ル(C1)。「アーユーレディ ー」をマスターして頑張ってくれ

(用意はいいですか?)「ゴー」 の掛け声とともにスタート。真 夏の琵琶湖にパドルを突き刺 し、ブレードで水をかき寄せる。 勝負は2分台の攻防だ▼

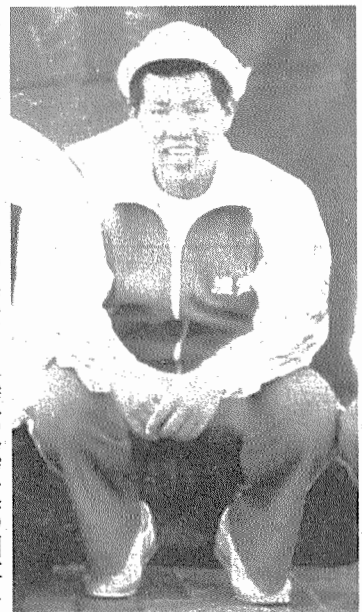
選手が8人しかおらへんかっ たかな。ワンレースで一発勝負 ですから。漕ぐのに真剣でレィ ス展開は覚えてませんけど、な んとか1位でゴールしたんで す。うれしかったですね。国 体や! ユニホームももらえるっ て。野球部の選手にも、俺は国 体選手になったぞって一番に言 いたかったんですよ。

▲その快進撃を強烈に覚えて いる県カヌー協会の野口享理 理事長(69) 草津市は「マイナ ー競技とはいえ、短期間でカヌ ーをマスターして頑張ってくれ

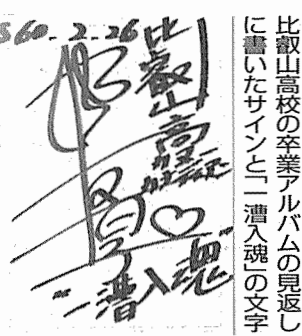


奈良国体に出場した土平ドンペイさん—奈良県吉野町の津風呂湖で1984年夏、いずれも本人提供

走って登校、筋肉モリモリ



憧れの滋賀県の国体ユニホームを着て。琵琶湖を想起させるライトブルーが基調だった



比叡山高校の卒業アルバムの見返しに書いたサインと「漕入魂」の文字

「と賛辞を贈る▼」

当時、カヌーは高校総体の実 施競技ではなく、県外であった カヌー単独の全国大会に出たん です。4レースくらいあって、 決勝まで残ったんですよ。決勝 はべべ、9位やったかな。

9月の奈良国体は各都道府県 1人が代表ですね。決勝残った か、準決勝のあと1枠で落ちた んか。天皇杯の点数も入れるこ ともなく終わったんですけど。

ドンペイさんのフェイス ブックに「何にでも挑戦し、 それを自分のものにする運 チャレンジ精神に 「頭が下がります」 動神経と精神力には頭が下 がります」などのコメント が寄せられました。

念願の滋賀県の国体ユニホーム もらったから、僕の中ではこれ でヒリオドでした。

▲奈良県スポーツ振興課から 記録を取り寄せると、少年男子 決勝の9人にその名前はなく、 準決勝で惜敗したようだ。優勝 は宮城県の手2分13秒74。 県勢は、ワイルドウォーターカ ャクシングル(K1)の成年 女子の優勝者に、二宮順子さん の名前がある▼

国体が終わると、吉尾先生が 「ドンペイ、大学からきょうさ ん特待生の話が来てるで。」 「え っ?」 「体育大とか、関東の大 学ばかりや」。ふと思いついた のが中学3年の夏、野球の活躍 でたくさん的高校から声が掛か り、うれしいなあと思っていた けど、結局あんな目におうたや ろ。よう考えてみ。勉強が基本 好きやないから、大学へ行くの はおかしな思ってたんですよ。

▲カヌーは卒業後、社会人に なっても続けた。国体には高校 時代の奈良を含め、選手、監督 として計4回出場した▼

【エリア編集委員・大澤重人】 二つづく、水曜掲載